

2010年5月23日
ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部

ゴルフ場で松尾城特別展示・イベント開催

～当コースのクラブハウスがモデルとしている地元「松尾城」をご紹介～

ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部（千葉県山武市、支配人：川居敬和）では、「幻の松尾城 特別展示」と題しまして、当コースのクラブハウスがモデルとしている地元「松尾城」をご紹介いたします。山武市歴史民俗資料館にて2009年11月7日～2010年3月28日に開催されました企画展の展示資料をお借りした上に当ゴルフ場の建設時資料を加え、クラブハウスの成り立ちから松尾城の歴史をご案内いたしております。地元密着型のゴルフ場づくりを標榜している当倶楽部において、これまで取り組んでまいりました地元貢献事業の一環として開催するものです。また特別展示開催に併せ、松尾城にちなんだイベントを開催いたします。まず第一弾として2010年6月15日（火）に「幻の松尾城 特別展示開設記念コンペ 初夏の陣」オープンコンペを開催いたします。今回のオープンコンペは「千葉県民の日」に開催のため、地元千葉県在住・在勤の皆様には昼食（限定メニュー）をサービスさせていただきます。

この特別展示・イベントをきっかけに、より多くの皆様に山武市松尾町の歴史をご認識いただければと願っております。

【幻の松尾城 特別展示開設記念コンペ 初夏の陣】

開催日：2010年6月15日（火）千葉県民の日

コンペ参加費：お一人様 プレー代プラス2,000円

※千葉県在住・在勤の方には昼食（限定メニュー）をサービス

■クラブハウス概念

当コースのクラブハウスは、太田資美により明治2年に稜堡式の居城として築かれた「松尾城」がモデルとなっております。具体的には、外構計画としては「四稜郭」の形態を反映させ、周囲を「堀」で囲み、「石垣」によって台地状に積み上げており、また平面計画としては、シンメトリー構成を基本としながら、日本建築の伝統手法を用いて「変化」（くずし）を与えて、格調を高めています。

■松尾城の概要

明治元（1868）年に徳川家達（いえさと）が駿府（現静岡県）に移封となり、東海地方の諸藩は押し出されるように各地へ転封となりました。遠州掛川（現静岡県掛川市）の大名太田資美（すけよし：太田道灌の子孫）は、上総武射松尾藩5万石となり松尾にやってきます。そして、明治2年に稜堡式（りょうほしき：大砲の砲座を主眼とする近代の築城法、函館五稜郭が有名）の居城として築城され、翌年11月に藩庁と知事邸が完成しました。当初「四稜郭」の設計でしたが地形等制約もあり、最終的に「三稜郭」を呈します。しかしながら未完成のうちに明治7年の廃藩置県をうけて築城は中止されました。



クラブハウス玄関



空撮



中庭の滝



名物ホール No. 2

■本件に関するお問合せ先

ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部 川居・山田
〒289-1512 千葉県山武市松尾町八田 1563

TEL: 0479-86-6401(代表) 0479-86-6400(予約) FAX: 0479-86-6432